

温室効果ガスの削減・吸収、炭素固定化による 美幌発「低炭素な町づくり」

CO2の削減



H19.9 BDF (バイオディーゼル燃料) 実証試験事業

カーボンニュートラルってどういう意味なの？

「植物は燃やすと二酸化炭素を排出しますが、成長過程では光合成により大気中の二酸化炭素を吸収するので、収支はプラスマイナスゼロになる、という炭素循環の考え方のこと」



家庭から出る廃食用油を精製し、カーボンニュートラルな燃料としてゴミ収集車などに活用しています。

H20.5 住宅用太陽光発電システム導入費補助金制度



太陽光発電ってどういう意味なの？

太陽光発電(たいようこうはつでん、Photovoltaic power generation)は、太陽電池を利用し、太陽光のエネルギーを直接的に電力に変換する発電方式である。ソーラー発電とも呼ばれる。再生可能エネルギーの一種であり、太陽エネルギー利用の一形態である。導入費用が高めな代わりに、昼間の電力需要ピークを緩和し、温室効果ガス排出量を削減できるなどの特長を有する。

H20.8 木質ペレットストーブ普及宣伝事業



燃料の木質ペレットは林地残材や製材端材をつかっているため温暖化防止に貢献します。



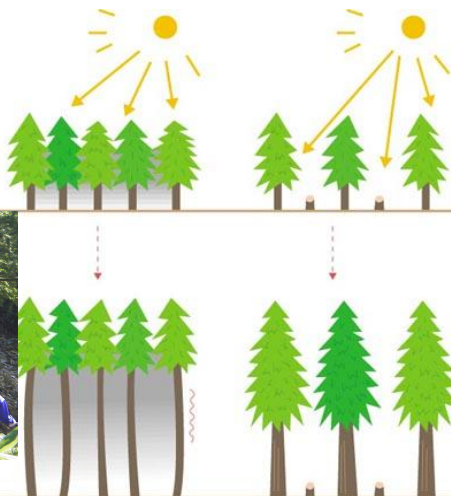
CO2の吸収

F S C (Forest Stewardship Council) っていう意味なの？

森林管理協議会といい、世界の森林を監視する、非営利、非政府の国際組織(本部：ドイツ)として活動しています。F S Cは森林管理のための10の原則と56の基準に基づいて、適正に管理された森林を認証しています。

美幌町においては平成17年10月に美幌町森林組合を代表として町内22団体個人の民有林約3,028haが道内2番目に取得。全国では24箇所が取得済。

間伐・枝打ちを行い樹木に日光をあてることにより生長し、CO2を吸収します。



学習の場としても活用しています。



地域のボランティアによる植林が盛んです。企業・大学のカーボンオフセット植林も行われています。

H17.10 FSC森林認証の取得

Cの固定

町産材活用住宅は北方型住宅の基準を満たす長寿命住宅として炭素の固定化に貢献します。



H19.9 町産認証材活用住宅助成事業

ウッドマイレージってどういう意味なの？

木材の量と木材の産地と消費地まで輸送距離を乗じたものである。日本の木材に対する自給率は18.2%と低く、南米、アフリカ、欧州、オセアニアといった、8,000キロメートル以上離れた輸出国から輸入する割合が40%と非常に高い。結果として日本のウッドマイレージは384億キロメートルで、米国の4.6倍、ドイツの21倍にもなる。

地元の木材は育った環境の中でこそ持っている力を発揮でき、輸送によるCO2排出を抑えます。

カーボンオフセットってどういう意味なの？

人間の生活や経済活動などを通して排出された二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などに投資することによって、排出した分を相殺(オフセット)し、発生してしまった二酸化炭素の量を何らかの方法で相殺し、二酸化炭素の排出を実質ゼロにする、という考えです。

- 「低炭素な町づくり」の行政計画
- ・H18.4 第5期総合計画(H18~H27)
 - ・H19.2 美幌町地域新エネルギービジョン
 - ・H19.3 地球温暖化対策実行計画
 - ・H20. 美幌町バイオマスタウン構想

お問い合わせ先：美幌町役場
〒092-8650 網走郡美幌町字東2条北2丁目25番地
TEL 0152-73-1111 FAX 0152-72-4869

BDF実証試験事業：民生部環境生活グループ・(株)道央環境センター
住宅用太陽光発電システム導入費補助金：経済部商工観光グループ
FSC森林認証・町産認証材活用住宅助成事業・木質ペレット普及宣伝事業：経済部耕地林務グループ